

## ハヤコヒシキタコ

あなたは「ハヤコヒシキタコ」を読んだ、 IJの文章からの何を取ったか?

IJの聞こは「IJの文章は何を言いたいか?」そこもいは聞こではなし。「IJの文章は何を言いたいか?」とこの聞この答えはたつた一つしかなこもいは思われる。しかし、「IJの文章から何を受け取ったか?」とこの聞こには「受け取る側の自由」がある。文章は言いたいことが伝わらなければ価値がない。究極的にこそ文章は「IJの文章」全ての人に伝達者(作者・著者など)の言いたいことが同じものほねるけれども。しかし現実はそういうかない。ある文章が受け取る人によってあまつとも受け取られ方が違ひ據ねば、その文章は下手な文章だとこうじてなる。

### 《ハヤコヒシキタコは圓文》

- (1)ハヤコヒシキタコはアイトントイトナーの様なこいこいな共通点が存在する。
- (2)一般的にわがいと照ねられてこぬIJヒドも実は共通点が隠されてこ。
- (3)ハヤコヒシキタコも最近な人がやつていてただまねをしてしるだけで、なぜ真似しているかはわやんと説明ができる。
- (4)ハヤコヒシキタコや、ハヤコドおぬIJヒシキタコやおぬIJヒシキタコで皿分皿歌を正則化する。
- (5)ハヤコヒシキタコも限定された集団内縛の現象である。
- (6)ハヤコヒシキタコも実利性、合理性で説明できない行動様式を正則化してこ。
- (7)ハヤコヒシキタコは意味がなこいわなや。
- (8)シキタコやハヤコヒシキタコや、シキタコであるIJヒシキタコで皿分皿歌を正則化する。
- (9)ハヤコヒシキタコは共通点があつ、うねりもなぜそなのかとこいは合理的な理由を説いてゐることができな。
- (10)ハヤコヒシキタコ、それは田分皿歌を正則化する何かである。

### 《ルの走》

- (21)ハヤコヒシキタコは実利性や合理性では説明のやもいは行動様式を正則化するもの。
- (22)歴史と時代に見合つたシキタコ。
- (23)ハヤコヒシキタコのやつひとつ共通点は、どちらも実利性や合理性では説明のできない行動様式を正則化するIJヒ。
- (24)シキタコは集団独創の歴史や文化であり、これがいも持続していかなければならぬものである。
- (25)シキタコは、その国獨創の文化が広がつたことだと聞える。

## 『ハヤリとシキタリはおなじ』

自分はシキタリとハヤリが似て居るとは思わない。

(44)ハヤリは若く世代だけだが、シキタリはどんな世代でも使われる。

(26)ハヤリもシキタリも必ずしも実利性や合理的な理由があるわけではない。むしろ決まって「わけじやなくてあやふやだ」。

(27)ハヤリもシキタリもはつきりと決まっている。

(28)ハヤリとシキタリは似たもの同士である。

(29)ハヤリもシキタリも、要は「他の人がやつてゐるかい、自分もやらなければいけない」と同じように感じた。

(30)隠匿はハヤリもシキタリも曖昧な言葉で数ある選択肢の一つであるということなのだ。

(31)ハキタリもハヤリもシキタリでありハヤリであるとこいつわからんのだと思つた。

(32)ハヤリやシキタリという言葉を使い、意味のあるかわからない行動に絶対の意味をつけている。

(33)ハヤリは、若者の一部に指示されたもので、シキタリは、何世代にも渡つて継承されてきた行動様式であり、ハヤリとシキタリは似ていないうで似ている。

(34)ハヤリもシキタリもどちらも文化と同じ。

(35)ハヤリやシキタリは、一部でおしなわれているものだから、他の人からおかしなものであつたり、理由の一つで使われるものである。

(36)ハヤリとシキタリは共通点があり、それは、どちらも普遍性を欠いたもの、どちらも実利性や合理性では説明のできない行動様式を正当化したものである。

(37)ハヤリとシキタリは、昔から続いていることではなくて、最近のことと歴史的なものではないといつ。

(38)ハヤリもシキタリもどちらも同じで、ハヤリとシキタリの違いは、ハヤリがすぐに終わってしまうが、シキタリは何年も続いている。

(39)ハヤリとシキタリは対照的・対立的だが、どちらも実利性や合理性では説明のできないといつ共通点がある。

『ハヤリとシキタリはちがう』

(40)ハヤリとシキタリは、似てこゆるより似ていないことこのこと。

(41)シキタリは何世代にも渡つて継承されたもの。ハヤリは「じく短サイクル」。

(42)シキタリは子孫に伝わり、ハヤリは同世代の人間に伝わる。

(43)シキタリとハヤリは似たよつな言葉だけれど、畳へ考えてみれば意味も言葉も全く違うことであつて

## 『その他』

(45)大流行などは、せいぜい十代後半から二十代前半の男女の一部に指示されている。

(46)シキタリは、昔から家とか村に伝わっているのであってそれを時間をかけて継承されていること。

(47)シキタリは長い歴史のものだけではない。

(48)ハヤリは長く継承されるものではない。

(49)他の国やその集団のシキタリが必ずしも人の國全土や他の集団や地域でも通用するかはわからない。

(50)シキタリなどハヤリという言葉が多く出でて昔と現代的なのがわかる。

(51)日本人は昔からシキタリなどでかたみがせまでしかないので、ハヤリせどりして十代から二十代までしかないので、

(52)「歯がやいしているから」というだけで自分で周囲と同じような行動・服装をするのは、外郭から見たらおかしなことである。

(53)現実に社会の中での行動様式を保持し、継承されているのは、シキタリであること。

(54)人は古い文化も新しいもののも合理的に変化させ、次の世代に伝え、持続させたり、次々と新しいものの「」とを発見し広める能力を持つてい。

(55)慣習でもシキタリでも、流行でもハヤリでもしつちでも意味は一緒だ。

(56)人は古いものにどんどん興味が無くなり新しいことに興味が湧いてくる。

(57)大流行などといつてもせいぜい十代後半から二十代前半とあつたが、自分は、五十代でも八十代の男女でも流行はあると思う。だから流行は若い人だけではない。

(58)自分はハヤリにうつことと思っていたが、作者のこのとおりなら、かなりハヤリに乗つている。

(59)自分は何かがハヤルとそれに合わせたりするけどシキタリは昔から命わせでいるので、ようはハヤリやシキタリに命わせるか命わせないかの違いだ。